

相模線複線化等促進期成同盟会の概要

1 設立の経緯

- (1) 相模線の活性化を図るため、県、沿線市町及び沿線経済団体では、「相模線活性化促進協議会」（昭和60年5月設立、会長：相模原市長）を組織し、平成3年3月には全線で電化が実現するなど、相模線の輸送力増強等に取り組んできた。
- (2) 平成9年11月の東海道新幹線新駅候補地の一本化などを受け、将来の利用者需要に対応するため、平成10年2月に協議会を解散の上、「相模線複線化等促進期成同盟会」を設立し、複線化をめざした活動を展開している。

2 目的

JR相模線の全線複線化の早期実現をめざし、輸送力増強を促進するとともに、沿線地域の発展を図ることを目的とする。

3 事業内容

- (1) 関係機関への要望、陳情活動
- (2) 各種情報収集及び調査研究活動
- (3) 関係団体との連絡、調整
- (4) その他、目的達成に必要な事業

4 組織体制

- (1) 会 員（11名）
 - ア 神奈川県知事
 - イ 沿線市町の首長（茅ヶ崎市長、相模原市長、海老名市長、座間市長、寒川町長）
 - ウ 沿線経済団体の長（相模原商工会議所会頭、茅ヶ崎商工会議所会頭、海老名商工会議所会頭、座間市商工会会長、寒川町商工会会長）
- (2) 役 員
 - ア 名誉会長 神奈川県知事
 - イ 会 長 相模原市長
 - ウ 副 会 長 茅ヶ崎市長、海老名市長、相模原商工会議所会頭
 - エ 監 事 座間市長、寒川町長、座間市商工会会長
- (3) 顧 問
 - ア 沿線選出国會議員
 - イ 県議会正副議長、沿線選出県會議員
 - ウ 沿線市町議会議長
- (4) 事務局
相模原市都市建設局まちづくり推進部交通政策課